

# 大切な 甲賀市の自然 ⑫

甲賀市内にすむ  
絶滅が心配される動植物や  
それらを育む大切な  
自然についての連載です

## ガマ合戦はいずこに? ヒキガエル



▲ ヒキガエル(甲賀市にはアスマヒキガエルとニホンヒキガエルの記録がある)



▶ 甲南町の休耕田で発見されたヒキガエルの卵(ヒモ状の寒天質の袋に多数の卵が入っている)

「ガマガエル」を知っていても、どんなカエルが思い浮かぶ人は少ないようです。正確な名前は『ヒキガエル』で、茶色い大型(体長15センチ前後になる)のカエルです。ジャンプせず、お腹を引きずりそうに歩く姿はなかなかユーモラスです。また、天敵から身を守るために、目の後ろ辺りから毒液を出しますが、この毒成分を含む「がまの油」は、傷口に効く薬として昔から有名です。さらには、春に小さな池に多くの親ガエルが集合し、騒々しく交尾・産卵する様子は“ガマ合戦(蛙合戦)”と言われました。

このように、人の生活に大変身近なカエルでしたが、滋賀県の平野や丘陵地では、その姿は非常に少なくなり(滋賀県レッドデータブックの“希少種”)、実際のガマガエルを知らない人が増えました。甲賀市内でも、人里はなれた山奥の水たまりなどに、ヒモ状の卵の塊が見られますが、ガマ合戦といえる程のカエルはいない様です。土山の溪流にはナガレヒキガエルという別の種類がすんでいます。

4月の  
休園日

2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

みなくち子どもの森自然館  
☎ 63-6712 FAX 63-0466

## 甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は甲賀町文化協会からお寄せいただきました。

次号(5月1日号)は、あいの土山文化協会の予定です。

**甲賀川柳 井上 謹三 選**

- ・復党もみんなで渡れば怖くない
- ・猪が俺の年だと校庭へ
- ・卒寿来て風化に耐えた足と腰
- ・自分史を挨拶にいう年になり
- ・四世代餅の食へ方四種類
- ・鬼は外ヒシヤと閉めるきつい音
- ・猪猛進前途不安の日本国
- ・鬼コーチ試合が済めばお人よし
- ・絵馬札の数だけ願い並んでる
- ・マンションの眼下で風は悔しがり

瀬古 一郎  
奥山 康雄  
藤橋阿さ江  
衆田 次雄  
隠岐 信子  
藤橋 淑子  
北川 溪舟  
山下きよの  
岡本みつ子  
木下恵美子

**鹿深句会 桑田 美智子 選**

- ・詠讃歌弥陀に届けと初奉納
- ・六回の亥年を迎ふ初詣
- ・面影を墓前に偲ぶ雪の朝
- ・青い空引き寄せ高き冬木立
- ・朝市のくりくり赤き寒卵
- ・湖風で三々五々と小白鳥
- ・蠟梅に溶け落ちそうな日差しかな
- ・近江富士車窓に挿し初電車
- ・朗々と響く祝詞やお元日
- ・若水やつるべの音も軽やかに

大北 のぶ  
山下 美幸  
茂田 悦子  
堀 小夜子  
松島 初江  
前田よしゑ  
藤縄よしみ  
山下 淑子  
林井 道乃  
東 美智代

**甲賀町俳句同好会 北川 溪舟 選**

- ・日脚伸ぶ花屋の前は人だかり
- ・隠し湯のぬるま湯にひとり日脚伸ぶ
- ・父鴨が威儀を正して先を行く
- ・パート妻帰り明るく日脚伸ぶ
- ・水鳥の散りて牙刺く波がしら
- ・くしゃみ出る人前こらえる苦しさよ
- ・生かされてくしゃみ二つではげまされ
- ・老いどちのグランドゴルフ日脚伸ぶ
- ・時刻む一秒毎に日脚伸ぶ
- ・嘔して薬の粉を飛ばしけり

広岡 久男  
村山多喜栄  
堅田八重子  
中島 節子  
森地千恵子  
藤橋 淑子  
増井 竹史  
立岡 久女  
松島 芳子  
立岡きさえ